

東山自然緑地再整備計画を策定しました ～京都の新しい花の名所へ～

東山自然緑地は山科区に位置する琵琶湖疏水沿いに整備された緑道です。昭和53年の全面開園以来、市民の皆様をはじめ多くの来訪者に利用されてきました。しかしながら、開園から約40年が経過し、トイレ、照明灯、園路やベンチなどの施設が老朽化しているため、「四季の花木を楽しめる京都の新しい花の名所」となるよう再整備に取り組んでいます。

この度、昨年度実施した市民意見募集の結果を踏まえて「東山自然緑地 再整備計画」を策定しました。

市ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。



東山自然緑地 再整備計画 [検索](#)

● 問い合わせ先 / 市みどり政策推進室 (☎741-8600)



● 問い合わせ先 / 区総務・防災担当 (☎592-3066)

今年、山科区内では、なかとみ保育園のほか、山階南小学校、大塚小学校の3箇所、球根の贈呈が行われました。子どもたちの温かい手で育てられる「人権の花」は、2月から3月頃に開花の時期を迎えます。美しく咲き誇ることを期待しましょう。

10月4日、なかとみ保育園において、「人権の花」運動の一環として、「人権の花(水仙)」の球根贈呈式と植え付けが行われました。
「人権の花」運動は、次代を担う子どもたちが、花の球根を育てることを通じ、協力・感謝することの大切さや命の尊さを学び、人権尊重の精神を身につけてもらうことを目的として、京都・山城人権啓発活動地域ネットワーク協議会において行われている取組です。
なかとみ保育園では、青田勝郎 京都人権擁護委員協議会長をはじめとする3名の人権擁護委員の皆さんが球根を贈呈。その後、園児の皆様が、思い思いにプランターへの植え付けを行いました。

心に開け「人権の花」
園児たちが球根を植え付け

女性に対する暴力をなくす運動

11月12日(日)から11月25日(土)までの2週間、配偶者等からの暴力、性犯罪、売買春、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為等、女性に対する暴力をなくす運動を実施しています。

暴力は、その対象の性別や加害者、被害者の間柄を問わず、決して許されるものではありません。女性に対する暴力の根底には、女性の人権の軽視があることから、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題となっています。

期間中は、区役所2階にドメスティック・バイオレンスなどの女性に対する暴力について考えるパネルを展示していますのでご覧ください。

● 問い合わせ先 / 男女共同参画推進課 (☎222-3091)



地域消防最前線 暖房器具にご注意

冬の季節に欠かすことの出来ない暖房器具。間違った使い方や、不注意による火災が毎年発生しています。左の項目で、暖房器具の正しい使い方ができているか確認してみてください。

- ☐ 暖房器具をつけたまま寝ていませんか？
 - ☐ 洗濯物を暖房器具の上に干したり、近くで乾かしたりしていませんか？
 - ☐ 暖房器具の周りにカーテンや新聞紙などの燃えやすいものはありますか？
 - ☐ 火がついたままの石油ストーブに給油していませんか？
 - ☐ 燃料タンクのキャップはきちんと閉めましたか？
 - ☐ 電気ストーブのコードが古くなっていたり、タコ足配線をしていませんか？
 - ☐ 暖房費をつけたまま外出していませんか？
- 暖房器具は使う前も使った後も、しっかりと安全を確認しましょう。
- 問い合わせ先 / 山科消防署 (☎592-9755)



京都市自治記念式典 区内33名・2団体に表彰状が贈呈されました

自治記念日の10月15日、京都市自治記念式典がロームシアター京都で開催されました。明治31年10月15日、市民自らの手により市長を選任し、市役所を開庁したことに由来、真の自治権を獲得したことを記念し、昭和33年から毎年この日に式典が開催されています。

式典では、市政協力委員として、市政の円滑な運営に協力されている皆様や、魅力あふれる未来の京都の実現に向け、尽力されている個人や団体などに対し、門川市長から表彰状が贈呈されました。

● 問い合わせ先 / 区まちづくり推進担当 (☎592-3088)



第51回 みんなで「第2期山科区基本計画」に取り組もう！ 区民活動きずなり

救える命に手を差し伸べる勇気を
～京都橋大学救急救命研究会 TURF～

みなさんは心肺蘇生やAEDを使う場面に遭遇したことはありますか？

心臓が原因で人が倒れた場合、救急車が到着するまでに近くの人によって一次救命処置(心肺蘇生やAEDの使用)がされると社会復帰率が大きく改善するそうです。しかし、現状では市民による一次救命処置がされたのは50%だけだそうです。

TURFは京都橋大学の学生によって2008年に設立されたサークルで、一次救命処置の方法を勉強し、一人でも多くの人命を救えるように普及活動を行うことを目的としています。

代表の京都橋大学3回生の谷口和也さんによると、メンバーは現在120名くらい。救急救命学科や看護学部の学生が多いですが、文学部など医療系でない学生も活動しているそうです。主な活動は、保育園・幼稚園や小学校などで一次救命処置の講習会を開催したり、イベント会場での救護や来場者に向けて一次救命処置の体験ブースを設けているそうです。

取材にうかがった日は、目前に迫った学園祭で来場者に向けて講習をするために、心肺蘇生の指導についてメンバー同士で教え合いをしていました。そのうちの一人、1回生の谷口大輔さんにお話を伺いました。

「TURFに入った理由は、自分の大切な人が倒れた時に、何もできないとくやしいと思うので、知識や技術を身につけようと思ったからです。身近な先輩から教えてもらうことで、自分も将来あんな先輩になりたいという目標を持つことができました。」

教員の千田いずみさんによると、「AEDは駅やスーパー、学校など私たちの身近に多く設置され、救命できる環境は確実に整ってきていますが、実際現場に遭遇した人が行動に移るには心理的なハードルがあり、それが50%という数字に表れています。小学校など子どもの頃から繰り返し講習を受けることで、将来少しでも行動に移す市民を増やせればと思います。」とのこと。山科でも講習会を実施する保育園・幼稚園や小学校を徐々に増やしていますが、まだまだ広がっていきたくそうです。講習会の開催に興味のある方は末尾にあるTURFの連絡先にお問い合わせください。

● 問い合わせ先 / 区総務・防災担当 (☎592-3066)

● 問い合わせ先 / 京都橋大学TURF (☎592-3066) kyoto.turf@gmail.com

